



温泉療養指導士宮尾の

オアーズのおうち温泉

検索



明日の健康コラム

第1話

「温泉と人工温泉」その2

皆様こんにちは。段々と日も長くなり春の訪れを感じはじめている宮尾です。

今回は前回書ききれなかった、「温泉と人工温泉」の“人工温泉”についてお話ししたいと思います。

皆さん人工温泉と聞いてどんなイメージをお持ちでしょうか？馴染みはあまりないでしょう。

天然温泉は前回書いたように、ある一定の成分が含まれているなどの条件があります。

ただ、実際に天然温泉同様の基準を人工的に再現する事は非常に難しいというのが現状ですが、弊社のシステムでは、温泉が湧出する自然の仕組みにできるだけ近い状態を取り入れる工夫をしています。

どういうことかと言うと、天然温泉が長年かけて様々な地層を通過し、ミネラルやエネルギーを吸収しながら地上に湧出するように、システム内のタンクの中には様々な特徴のある鉱物とセラミックスを組み合わせて人工的に温泉エネルギーを水に与える為の地層を作っているという事です。つまりご家庭に枯れない源泉を設けてしまうというイメージです。そこを常時循環、通水させることで水を練り上げ、温泉エネルギーの含まれた水に改質していきます。（※温泉エネルギー：遠赤外線、ミネラル溶出、ラドンガス発生等）

結果として導入して頂いたお客様からは、「体がいつまでもぽかぽかしている」とか、「冷え症が和らいだ」と言った温泉に入ったときのような効果と同様の嬉しいお言葉も頂戴しています。

日本には四季があり、体がその変化についていく為には、必ず代謝を上げる必要があります。

簡単にシャワーで済ます入浴の人と、毎日芯まで体を温めた入浴をしている人では健康の部分で、数年後に大きな差が生じるでしょう。（私もたまに二時間程入浴している時もあります）

四季を通じてしっかり体を温める！これが明日の健康を作る基本の第一歩だと思います。

オアーズでそんな健康づくりのお手伝いができれば幸いです。 詳しくは「オアーズのおうち温泉」で検索！

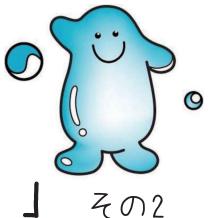
知らないや損？

ちょっと気になる話。



第1話

「水のおはなし」その2



こんにちは、長野県の松代も少しずつ春が近づいて来ているようで、通勤で通る地蔵峠の圧雪も融け木漏れ日も輝いて見えます。さて先回に続き、お水のお話をさせていただきます。

体にいい水ってどんな水なのか？

簡単に言えば自然の湧水のような水、長い時間をかけて地中をめぐり、土、砂、石、岩と接触し、時には滝のような急激な流れでぶつかり合い、細かくて、かつ微弱な電気エネルギーを高密度に保有出来る性質を持った水・・・あまり簡単ではなくなりましたね・・・。

要するに体の細胞に浸透する細かさ（小ささ）があって元気のいい（生命エネルギーに満ち溢れた）水が良いと言えると思います。

人は、若い時は水分の保有量が多いけれど、老いるにつれて体の中の水分量が減ってしまいます。バッテリーにたとえれば、若い時はバッテリー液が満タン、すぐに元気が回復して力も強いけれども、老いるとバッテリー液が減り、力も弱く、回復力も半減てしまいます。

いい水で体を満たすことが健康への第一歩といえそうですね！

でも綺麗な湧水が近くで湧き出ている環境で暮らしている人は少ないですよね・・・、淨水器でそんないい水を作り出すことが出来るのか？

次回から実際にチャレンジしていきたいと思います、乞うご期待。